

# 落下物、事故対策を約束

## ◇航空機事故への対応は

空港外での事故に備え、市町村消防や医師会等を中心として救難救護訓練を計画、また救難救護体制の充実をも図っている。

また、周辺市町村の消防力強化のための助成もしている。

万一事故が発生した場合は、航空会社が当然責任を負うことになるが、市町村には迷惑のからぬよう指導していく。

## ◇落下物の現状と対策

既に39件(内部品16、氷塊23)

の落下物があり、その内84パーセントが横芝町を中心とした南側に落ちている。

運輸省では、落下物対策委員会を設置しその対策に真剣に取り組んでいる。また、乗入れ航空会社で組織するAOC機構を通じて、厳重な警告を発し改善を求めてきた。このため整備状況は好転していると確信するが、なお一層の努力を進めていく。

## ◇飛行コースのずれは

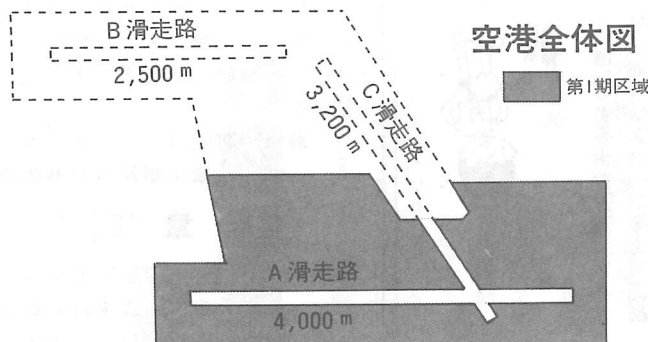
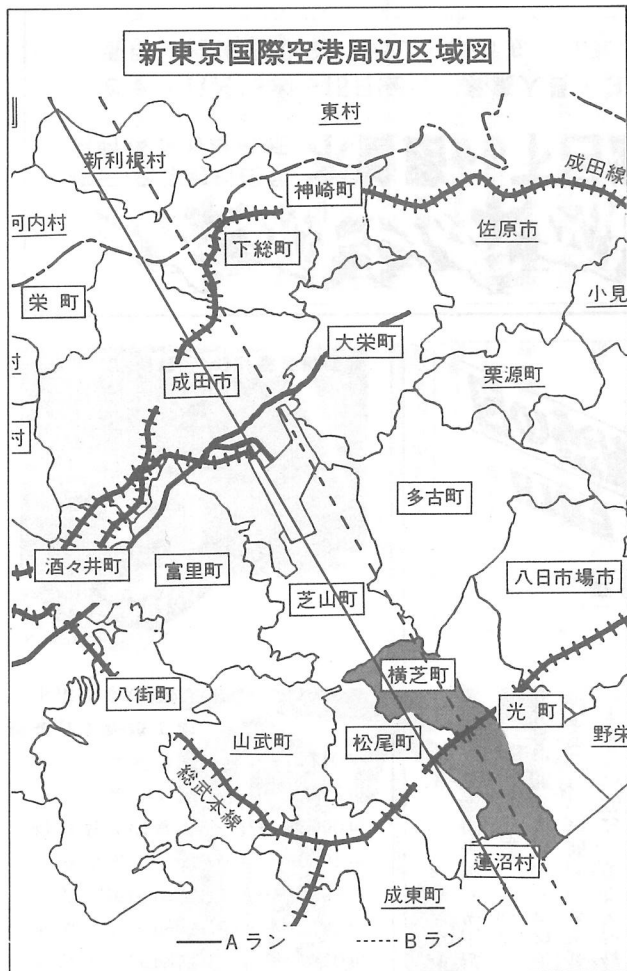
乗客の安全を第一とするとこ

ろから、風向き等によりずれを生ずることがある。

しかし、パイロットのモラルに帰すべき点は、管制上の問題として厳しく警告しているので多少なりとも効果は上っているものと思える。

## ◇TVアンテナ対策は

公団設置のアンテナ(V)は、一般のものと違って、高性能な特注品で一般市販はされていない。このためその取付け等については製造業者に委託している。しかし、地元町村からの要望も強いので、どうすれば地元業者へ委ねられるかを検討中である。



## 市町村別 落下物確認状況

市町村名	氷塊	部品	合計
横芝町	12	3	15
松尾町	8	3	11
蓮沼村	0	2	2
芝山町	1	4	5
成田市	0	2	2
小計	21	14	35
横利根村	0	1	1
河内村	2	1	3
小計	2	2	4
合計	23	16	39

(60.7.1現在)

## 住民の安全を第一に

町長 佐瀬哲司

(騒音対策委員会部会長)



二期工事は、国際空港としての必要性は無論のこと、本県発展の上からも成し遂げなくてはならない重要課題であると考えている。

しかし、Bランはわが町の直上を縦断することになるので、落下物や事故など、住民の安全が脅かされることがあってはならず、その辺の対策が必須の条件になることは論を待たない。

住民の安全を第一に、地域の振興発展を第二に、今後も当局に対しては厳しい注文をつけ、住みよい豊かなまちづくりに結びつけていきたい。